

# 研修プログラム（放射線科用）

令和2年度版

項目	レベル1（採用1年目対象）		
	4～7月	8～11月	12～3月
部署目標	二交代業務が可能	医療安全に考慮した検査が可能	チーム医療が可能
技術的	<p>①一般撮影 □日常診療におけるX線撮影技術に基づいた撮影法を習得</p> <p>②CT検査 □日常診療における基本的なCT撮影技術及び知識の習得 □検査に対しての正しい情報提供</p> <p>③MRI □MRI検査における安全使用法の習得 □検査に対しての正しい知識の習得</p>	<p>①一般撮影 □各装置の特徴、性能等を理解し、適切かつ安全に検査業務を遂行できる。</p> <p>②CT検査 □CT造影剤の特徴及び副作用を理解し、適切な取り扱いができる</p> <p>③MRI □MRI造影剤の特徴及び副作用を理解し、適切な取り扱いができる □日常診療における基本的なMRI撮影技術及び知識の習得</p> <p>④血管撮影 □血管撮影装置の基本操作と造影剤自動注入器の正しいセッティング</p>	<p>①一般撮影 □臨床画像におけるX線解剖学及び撮影法の習得</p> <p>②CT検査 □急変時、チーム医療として対応可能</p> <p>③MRI □急変時、チーム医療として対応可能 □MRIシーケンスの撮像原理と使用方法の理解</p> <p>④血管撮影 □血管撮影装置の安全使用の為に知識及び技術の習得</p>
管理的	<p>① 接遇 □撮影時の患者さんへの対応ができる。</p> <p>②コミュニケーション □電話対応等（職員との）できる</p>	<p>① 接遇 □患者への検査内容の説明が可能</p>	<p>①接遇 □患者さんとのコミュニケーションで円滑に検査を遂行できる。</p>
外部研修	前期 新人・三年未満研修 厚生連技師研修会	厚生連上部消化管撮影研修会	後期新人・三年未満研修 厚生連上部消化管撮影研修会

# 研修プログラム（放射線科用）

令和2年度版

<p>項目</p>	<p>レベル2（2～3年目対象目安）</p>
<p>部署 目標</p>	<p>放射線技師として必要な知識を習得し新人指導を行うことができる。</p>
<p>技 術 的</p>	<p>①一般撮影  <input type="checkbox"/> 救急や感染現場など不規則な局面にあっても、迅速に業務判断が可能  <input type="checkbox"/> 医療情報システムや医療画像の仕組みを理解し適切な運用及び検査結果の正しい情報提供</p> <p>②CT検査  <input type="checkbox"/> 装置性能を理解したCTプロトコール作成の習得  <input type="checkbox"/> ワークステーションを使用した医療支援画像作成法の会得  <input type="checkbox"/> 検査理由を理解し適切な撮影を行うことができる。</p> <p>③MRI  <input type="checkbox"/> 臨床への理解を深め有意義なMR画像の情報 提供が可能。  <input type="checkbox"/> MRI対応ペースメーカーの正しい取り扱いと撮影 が可能。  <input type="checkbox"/> 検査理由を理解し適切な撮影を行うことができる。</p> <p>④血管撮影  <input type="checkbox"/> 被ばく低減を意識した画像改善や適切な撮影パラメーターを設定できる。  <input type="checkbox"/> 他職種と連携を十分にし、チーム医療としての業務が可能。</p>
<p>管 理 的</p>	<p><input type="checkbox"/> 医療チームの一員として他部門と協力しながら円滑に連携を行う。  <input type="checkbox"/> プリセプターとして新採用者に基本的な撮影を教えることができる。  <input type="checkbox"/> 患者からのクレーム対応が可能。  <input type="checkbox"/> 医療機器の機器管理(日常点検項目)の実施。  <input type="checkbox"/> 医療安全、感染防止対策に対して安全管理の実施。</p>
<p>外 部 研 修</p>	<p>新人・三年未満研修（研究発表）          厚生連技師研修会(研究発表)          厚生連上部消化管撮影研修会</p>

# 研修プログラム（放射線科用）

令和2年度版

<p>項目</p>	<p>レベル3（4～9年目目安）</p>
<p>部署 目標</p>	<p>放射線技師として専門知識の習得。</p>
<p>技 術 的</p>	<p>①一般撮影  <input type="checkbox"/>自身の質の高い検査手技スタイルを確立する</p> <p>②CT検査  <input type="checkbox"/>CT装置性能評価法の理解と技術の取得</p> <p><input type="checkbox"/>疾患に合わせた最適な検査方法を行える。</p> <p><input type="checkbox"/>標準医療に基づいた画像情報の提供すること。</p> <p><input type="checkbox"/>正常画像を理解し、異常を指摘できる。</p> <p>③MRI  <input type="checkbox"/>症例に合わせた最適なシーケンスの選択を行える。</p> <p><input type="checkbox"/>標準医療に基づいた画像情報の提供することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>正常画像を理解し、異常を指摘できる。</p> <p>④血管撮影  <input type="checkbox"/>放射線安全管理を実施し患者及び医療スタッフの被ばく低減に努める。</p>
<p>管 理 的</p>	<p><input type="checkbox"/>業務の効率化の提案。自身が主体となり協議し、新しい業務運用方法を提案できる。</p> <p><input type="checkbox"/>精度管理の評価とその対応ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>機器管理業務を実施。</p> <p><input type="checkbox"/>患者さんからの質問に的確に答えることができる。</p>
<p>外 部 研 修</p>	<p>厚生連技師会研修会          厚生連上部消化管撮影研修会          厚生連放射線治療研修会          新潟MRI技術研究会          新潟CTテクノロジー          新潟MR画像研究会          新潟マンモグラフィ研究会          日本放射線技師会学術大会          日本放射線技術学会学術大会</p>

# 研修プログラム（放射線科用）

令和2年度版

項目	レベル4（10年目以降目安）
部署 目標	医療人として幅広い知識を習得する。 部門リーダー。
技術的	<p>①一般撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>画像評価における知識と技術を取得し、最適なパラメーターの設定ができる。</li> <li><input type="checkbox"/>放射線安全利用ガイドラインに則り診断参考レベル活用し線量を評価し撮影条件の最適化を図ることができる。</li> </ul> <p>②CT検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>CT装置の被ばく線量評価法を理解しプロトコルを検討することができる。</li> <li><input type="checkbox"/>CT装置性能を理解し、効率的な業務運用が可能である。</li> <li><input type="checkbox"/>装置品質・制度管理から動作異常時対応まで総合的なCT管理業務が可能となる。</li> </ul> <p>③MRI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>装置性能を十分に発揮させ、検査目的を達成するための技術を習得する。</li> <li><input type="checkbox"/>装置品質・精度管理から動作異常時対応まで総合的なMR管理業務が可能となる。</li> </ul> <p>④血管撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>血管撮影装置の被ばく線量管理を行い最適化を図ることが可能となる。</li> </ul> <p>⑤全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>放射線関連機器の品質・精度管理業務が可能となる</li> <li><input type="checkbox"/>放射線科業務の効率化の推進する。</li> <li><input type="checkbox"/>専門認定技師の取得を目指し知識、技術の向上を図る。</li> </ul>
管理的	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>自身が主体となり協議し、新しい業務運用方法を構築できる。</li> <li><input type="checkbox"/>自施設における教育・指導する役割ができる。</li> <li><input type="checkbox"/>チーム医療を推進し他部門との連携に努める。</li> <li><input type="checkbox"/>科内各部門の状況を常に確認しながら、フォローすることができる。</li> <li><input type="checkbox"/>医療安全、感染対策について指導できる。</li> </ul>
外部 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生連技師会研修会</li> <li>厚生連上部消化管撮影研修会</li> <li>厚生連放射線治療研修会</li> <li>新潟MRI技術研究会</li> <li>新潟CTテクノロジー</li> <li>新潟MR画像研究会</li> <li>新潟マンモグラフィ研究会</li> <li>日本放射線技師会学術大会</li> <li>日本放射線技術学会学術大会</li> <li>日本消化器がん検診学会</li> </ul>